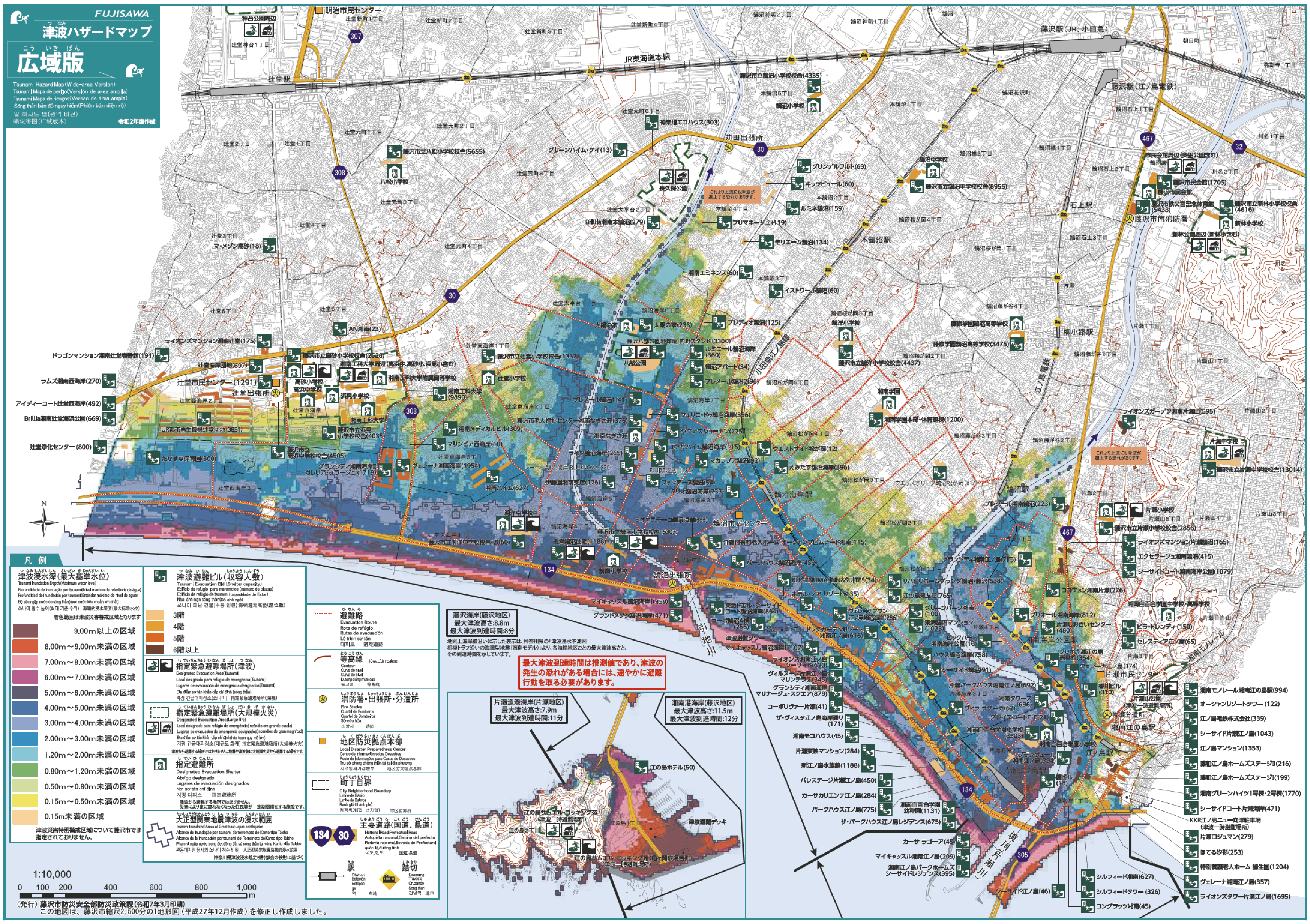


FUJISAWA

津波（つなみ）ハザードマップ

広域版（こういきばん）

Tsunami Hazard Map (Wide-area Version)
Tsunami Mapa de peligo(Versión de área amplia)
Tsunami Mapa de riesgos(Versão de área ampla)
Sóng thần bản đồ nguy hiểm(Phiên bản diện rộ)
쓰나미 해저드 맵(광역 버전)
海啸灾害图(广域版本)

令和2年度作成

凡例

津波浸水深（最大基準水位）
Tsunami Inundation Depth(Maximum water level)
Profundidade de inundação por tsunami(Nível máximo de referência da água)
Profundidad de inundación por tsunami(Estándar máximo de nivel de agua)
Độ sâu ngập nước do sóng thần(mực nước tiêu chuẩn lớn nhất)
쓰나미 침수 높이(최대 기준 수위)　海啸的浸水深度(最大标准水位)

着色範囲は津波災害警戒区域となります

🟫	9.00m以上の区域
🟥	8.00m～9.00m未満の区域
▨	7.00m～8.00m未満の区域
▨	6.00m～7.00m未満の区域
▨	5.00m～6.00m未満の区域
🟦	4.00m～5.00m未満の区域
▨	3.00m～4.00m未満の区域
🟦	2.00m～3.00m未満の区域
▨	1.20m～2.00m未満の区域
🟩	0.80m～1.20m未満の区域
▨	0.50m～0.80m未満の区域
🟨	0.15m～0.50m未満の区域
▨	0.15m未満の区域

津波災害特別警戒区域について藤沢市では指定されておりません。

津波避難ビル（収容人数）
Tsunami Evacuation Bld.(Shelter capacity)
Edificio de refugio para maremotos (número de plazas)
Edifício de refúgio de tsunami(capacidade de Estar)
Nhà lánh nạn sóng thần(Số chỗ ngồi)
쓰나미 피난 건물(수용 인원)　海啸避难高楼(座位数)

▨	3階
▨	4階
▨	5階
▨	6階以上

指定緊急避難場所（津波）
Designated Evacuation Area(Tsunami)
Local designado para refúgio de emergência(Tsunami)
Lugares de evacuación de emergencia designados(Tsunami)
Địa điểm sơ tán khẩn cấp chỉ định (sóng thần)
지정 긴급대피장소(쓰나미)　指定紧急避难场所(海啸)

指定緊急避難場所（大規模火災）
Designated Evacuation Area(Large fire)
Local designado para refúgio de emergência(Incêndio em grande escala)
Lugares de evacuación de emergencia designados(Incendios de gran magnitud)
Địa điểm sơ tán khẩn cấp chỉ định(hỏa hoạn quy mô lớn)
지정 긴급대피장소(대규모 화재)　指定紧急避难场所(大规模火灾)
津波から避難する場所ではありません。地震や津波後に大規模火災から避難する場所です。

指定避難所
Designated Evacuation Shelter
Abrigo designado
Lugares de evacuación designados
Nơi sơ tán chỉ định
지정 대피소　指定避难所
津波から避難する場所ではありません。
災害により家に戻れなくなった住民等が一定期間滞在する施設です。

大正型関東地震津波の浸水範囲
Tsunami Inundated Areas of Great East-Japan Earthquake
Alcance de inundação por tsunami do terremoto de Kanto tipo Taisho
Alcance de la inundación por tsunami del Terremoto de Kanto tipo Taisho
Phạm vi ngập nước trong đợt động đất và sóng thần tại vùng Kanto kiểu Taisho
관동대지진 당시의 쓰나미 침수 범위　大正型关东地震海啸的浸水范围
神奈川県津波浸水想定検討部会の検討に基づく

避難路
Evacuation Route
Rota de refúgio
Rutas de evacuación
Lộ trình sơ tán
대피로　避难道路

等高線　10mごとに表示
Contour
Curva de nivel
Curva de nível
Đường đồng mức cao
등고선　等高线

消防署・出張所・分遣所
Fire Station
Cuartel de Bomberos
Quartel de Bombeiros
Sở cứu hỏa
소방서　消防

地区防災拠点本部
Local Disaster Preparedness Center
Centro de Información sobre Desastres
Posto de Informações para Casos de Desastres
Trụ sở phòng chống thiên tai tại địa phương
지역방재거점본부　地区防灾据点总部

町丁目界
City Neighborhood Boundary
Límite de Barrio
Limite de Bairros
Ranh giới thành phố
정정목계(리 번지 경계)　市区街界线

主要道路（国道、県道）
134　30
National Road,Prefectural Road
Autopista nacional,Camino del prefecto
Rodovia nacional,Estrada de Prefectural
quốc lộ,đường tỉnh
국도,현도　国道,县道

駅
Station
Estación
Estação
ga
역　车站

踏切
Crossing
Travesía
Cruzando
Song than
건널목　道口

1:10,000
0　100　200　400　600　800　1,000 m

（発行）藤沢市防災安全部防災政策課（令和7年3月印刷）
この地図は、藤沢市縮尺2,500分の1地形図（平成27年12月作成）を修正し作成しました。

藤沢海岸（藤沢地区）
最大津波高さ:8.8m
最大津波到達時間:8分

地図上海岸線沿いに示した表示は、神奈川県の「津波浸水予測図 相模トラフ沿いの海溝型地震（西側モデル）」より、各海岸地区ごとの最大津波高さと、その到達時間を示しています。

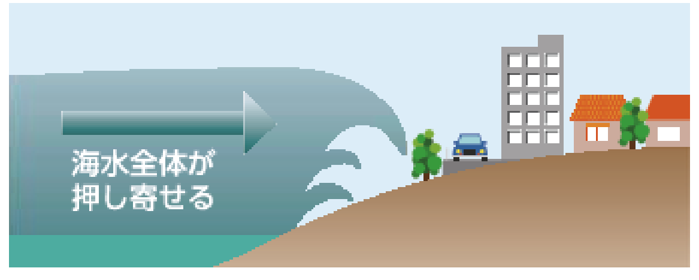
最大津波到達時間は推測値であり、津波の発生の恐れがある場合には、速やかに避難行動を取る必要があります。

片瀬漁港海岸（片瀬地区）
最大津波高さ:7.9m
最大津波到達時間:11分

湘南港海岸（藤沢地区）
最大津波高さ:11.5m
最大津波到達時間:12分

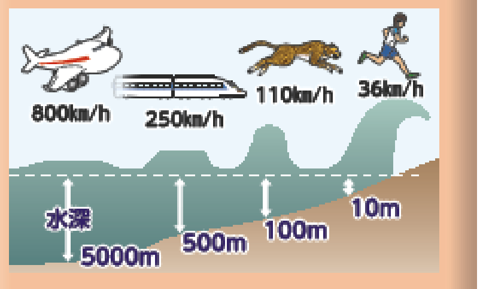
1 津波とは

津波とは地震等による海底地盤の隆起や沈降によって、海水が上下に変動することで引き起こされます。海水そのものが水の塊となって動くため、風によって引き起こされる波浪よりも威力は大きく、その規模によっては凄まじい破壊力を持っています。津波の「津」とは「港」を意味し、「津波」とは津（港）に押し寄せる異常に大きな波のことを意味します。


海水全体が
押し寄せる

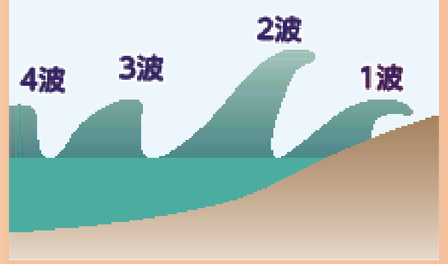
津波の特徴

津波の速さと高さ



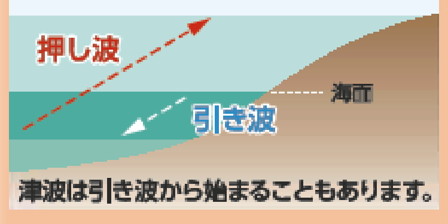
津波の速度は、海の深いところでは速く、浅くなるにつれて遅くなりますが、波の高さは浅くなるほど高くなります。

繰り返し襲ってくる



津波は2度3度と繰り返し襲ってきます。また、波の高さは1度目よりも2度目の方が高いこともあります。

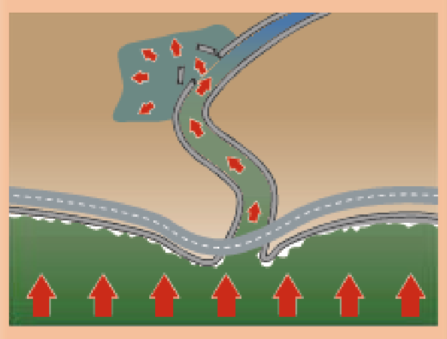
押し波と引き波



津波は引き波から始まることもあります。

津波が沖合から海岸に向かって進行する場合を押し波といい、津波が海岸から沖合に向かって進行する場合を引き波と言います。

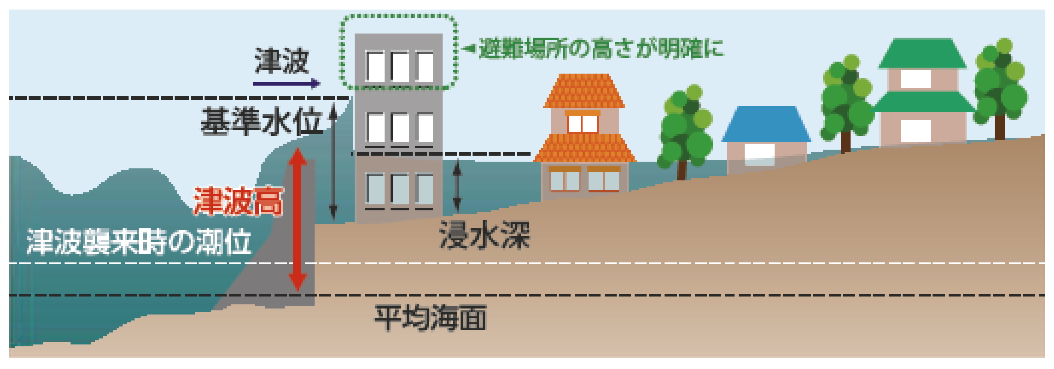
河川の遡上



津波が河川を遡上し、堤防を越えたり壊したりして、被害をもたらすことがあります。

用語解説

- **津波高**
  海岸線における、平均海面から津波の水面までの高さ
- **到達時間**
  津波が海岸に到達するまでの時間
- **浸水深**
  それぞれの場所において、水面が最も高い位置にきたときの地面から水面までの高さ
- **基準水位**
  浸水深＋建築物等への衝突によるせり上げ高さ



2 津波から命を守るために

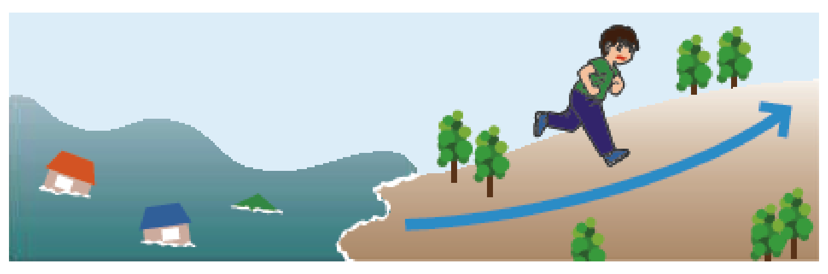
自らの命は自ら守る　海や川の近くにいて地震にあったら、すぐに避難することが大原則です。

津波から身を守るために

●**津波警報を見たり聞いたりしたら急いで逃げる。**
揺れが小さくても大きな津波が起こることもあります。

津波警報発令！
すぐ避難を!!
地震情報
津波警報！

●**できるだけ早く海や川から離れましょう。**
津波は低いところから襲います。できるだけ早く、海や川から離れ、高いところに逃げましょう。

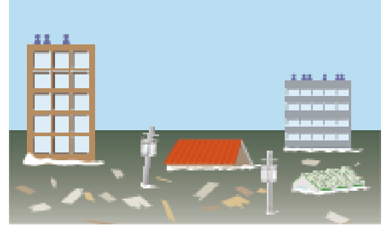


●**津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が出ている間は避難をつづける。**
初めの波より後に来る波が大きいこともあります。

イヤ！
またきたゾ
やっと
引いたみたい

適切な避難のために

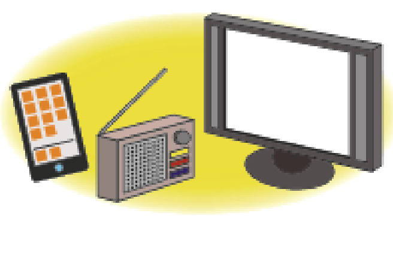
●**近くに高台が無い場合は？**
津波避難ビルや鉄筋コンクリート製の堅ろうな構造のビルに逃げましょう。



●**車での移動は厳禁**
道路の損傷や家屋の倒壊等、車での移動が困難になるほか、円滑な避難の妨げとなるため、車での移動は避けましょう。

●**無駄なものは持ち出さない**
必要以上のものを持ち出さないようにしましょう。避難の妨げとなる可能性があります。

●**情報の入手手段**
ラジオやテレビ、インターネット、防災行政無線（屋外にいる方）等により、正しい情報を事前に入手しましょう。



津波てんでんこ

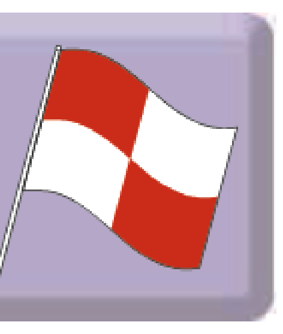
「てんでんこ」とは「てんでんばらばらに」を表す東北地方の方言です。「津波はあっという間にやってくるため、各自てんでんばらばらに高台に逃げなさい」という意味を込めて「津波てんでんこ」と言われ、「自らの命は自ら守る」という大原則を表しています。

家族や地域で事前に話し合う

津波避難は一刻を争うため、離ればなれになった家族を探したり、とっさの判断に迷って逃げ遅れてしまうことも少なくありません。そのため、たとえ家族が離ればなれになったとしても、適切な避難行動がとれるように、家族や地域でお互いの行動をあらかじめ話し合い、決めておくことが大切です。

津波フラッグ

気象庁が発表する津波警報等（津波注意報，津波警報，大津波警報）は、テレビ、ラジオ、緊急速報メール、防災行政無線等、様々な手段で対象地域にいる人々に伝達されます。視覚による伝達手段として、これまでオレンジフラッグを使用していましたが、気象庁が令和２年６月に気象業務法施行規則及び予報警報標識規則を改正し、全国統一で「赤と白の格子模様の旗（津波フラッグ）」を使用することになりました。藤沢市では、令和３年度から『オレンジフラッグ』を『津波フラッグ』にかえて使用を開始しています。



3 津波警報・注意報と津波情報

情報の種類

津波による災害が予想される場合、大津波警報（特別警報）、津波警報、津波注意報を発表し、同時に到達予想時刻や予想される津波の高さなど「津波情報」を発表します。津波による被害の恐れが無い場合は、津波予報を発表します。

警報・注意報の種類ととるべき行動

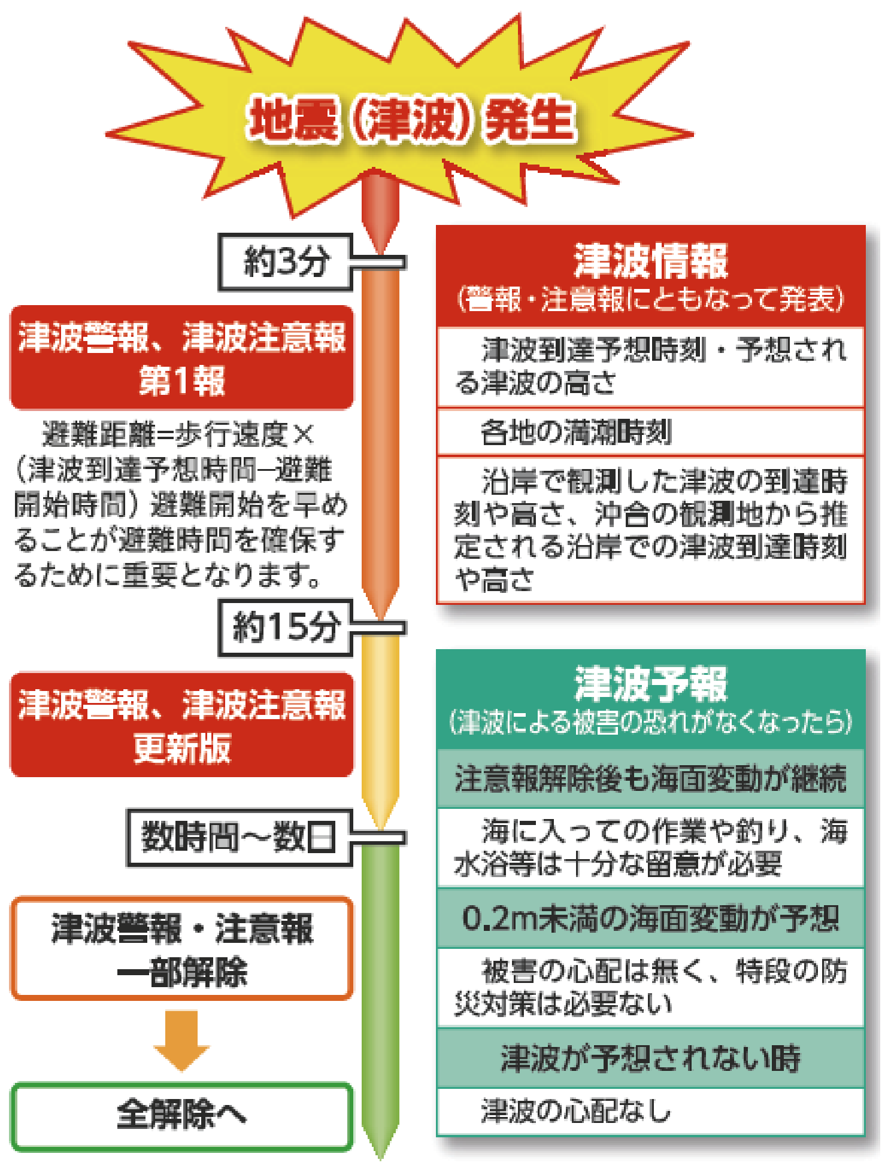
	予想される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値での発表（発表基準）	巨大地震の場合の表現		
大津波警報（特別警報）	10m超 （10m<高さ）	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。
	10m （5m<高さ≦10m）			
	5m （3m<高さ≦5m）			
津波警報	3m （1m<高さ≦3m）	高い	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう!	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。
津波注意報	1m （20cm≦高さ≦1m）	（表記しない）	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしないでください。	海の中では人は速い流れに巻き込まれる。小型船舶が転覆する。

※震源が陸地に近いと津波警報が津波の襲来に間に合わないことがあります。「揺れたら避難」を徹底しましょう。
※津波は沿岸の地形などの影響により局所的に予想より高くなる場合があります。より高い場所を目指して避難しましょう。
※地震発生後、予想される津波の高さが 20cm未満で被害の心配がない場合、または津波注意報の解除後も海面変動が継続する場合には、「津波予報（若干の海面変動）」を発表します。

「巨大」という言葉を聞いたら？

「巨大」という言葉を見たり聞いたりしたら、東日本大震災クラスの津波が来ると思って、ただちにより高いところへ避難しましょう。

津波に関する情報の発表タイミング



地震（津波）発生

約3分

津波警報、津波注意報
第1報

避難距離＝歩行速度×（津波到達予想時間−避難開始時間）避難開始を早めることが避難時間を確保するために重要となります。

約15分

津波警報、津波注意報
更新版

数時間～数日

津波警報・注意報
一部解除

全解除へ

津波情報
（警報・注意報にともなって発表）
- 津波到達予想時刻・予想される津波の高さ
- 各地の満潮時刻
- 沿岸で観測した津波の到達時刻や高さ、沖合の観測地から推定される沿岸での津波到達時刻や高さ

津波予報
（津波による被害の恐れがなくなったら）
- 注意報解除後も海面変動が継続
  - 海に入っての作業や釣り、海水浴等は十分な留意が必要
- 0.2m未満の海面変動が予想
  - 被害の心配は無く、特段の防災対策は必要ない
- 津波が予想されない時
  - 津波の心配なし

予想される津波の高さや到達時刻はあくまでも目安です。実際とは異なる場合がありますので注意しましょう。

4 東日本大震災の教訓

津波の教訓を生かす

2011年3月11日に発生した東日本大震災では、約19,000人もの方が津波の犠牲になりました。今後、このような犠牲者を出さないため、この震災の経験を教訓とし、震災を自分のこととして考えることも大切です。

見えてくる教訓

- 津波避難は一刻を争うもの。ためらわずに急いで避難する。
- 家族や親戚が心配でも、海や川のそばには絶対に戻ってはいけない。
- 車での避難は危険。渋滞に巻き込まれ、逃げ遅れることがある。
- 油断をしない。予想外に大きな津波に襲われることがある。
- 地震による停電や機器の故障などで津波警報等の情報がとれないこともある。情報に依存せず、適切に避難する。

津波災害に備えて

このハザードマップを見て、津波や津波避難について家族や地域で話し合いましょう。普段から、津波の恐ろしさや避難の方法など災害時の行動を話し合っておくことが、いつ襲ってくるかわからない津波に対する有効な備えとなります。

【参考資料】気象庁ホームページ、一般財団法人 日本気象協会「津波の基礎知識」　【写真出典】国土交通省「東日本大震災の記録 ―国土交通省の災害対応―」